

様 式 リ ス ト

試験成績書の発行を不要とされる場合は、資料の提出もしくは、記載内容の一部を省略できます。

《様式 1》

性能確認試験申込書

様式 1 の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
また、社印、責任者印を押印してください。【必須資料です。】

《様式 2》

試験槽の各単位装置の概要

様式 2 の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
(試験申込資料として、記載内容の一部を省略可能です。)

《様式 3》

浄化槽性能確認試験の試験設定条件の変更届

様式 3 の様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
また、社印、申込責任者（浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書《付属資料 1》に記載の申込責任者）印を押印してください。(変更内容によっては省略可能です。)

《様式 4》

変更箇所の新旧対比表

様式 4 の様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。(変更内容によっては省略可能です。)

《様式 5》

搬入搬出計画書

様式 5 の様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
【必須資料です。】(申込時は計画書(案)を作成してください。)

《様式 6》

点検等作業計画書

様式 6 の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
【必須資料です。】(申込時は計画書(案)を作成してください。)

《様式 7》

保守点検チェックリスト

様式 7 の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
維持管理作業を試験所に依頼される場合に該当します。
(試験所に維持管理作業を依頼されない場合は、試験申込資料として、省略可能です。)

《様式 8》

取り下げ届

様式 8 の様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。
また、社印、責任者（性能確認試験申込書《様式 1》に記載の責任者）印を押印してください。

性能確認試験申込書(浄化槽)

一般財団法人 日本建築センター 御中

申込者

会社名

Ⓜ

責任者名

Ⓜ

所在地 〒

電話

下記について、浄化槽試験を受けたいので、次のとおり申込ます。申込にあたっては、一般財団法人日本建築センター浄化槽試験業務規程及び同浄化槽試験業務約款を遵守します。また、この申込書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

件名			
試験の方法	適用する試験方法(予定)		
連絡先	会社名: 所在地: 〒 部 課 名: 担当 ^{ふりがな} 者名: 電話番号: FAX 番号: e-mail:	承諾印及び承諾日	※
試験手数料請求先 (会社名のみ記入)		手数料額 (税込)	※
請求書送付先 (会社名のみ記入。ただし、請求書送付先が【連絡先】と違う場合は住所も記入のこと。)			

(注意)

- ① 申込者が法人である場合には、試験申込責任者の役職及び氏名も併せて記載して下さい。また社印、責任者印を押印して下さい。
- ② 請求書送付先には必ず担当者名をご記入下さい。
- ③ ※印のある欄は記入しないで下さい。
- ④ 本様式は、当財団への試験申込の場合にのみ適用します。
- ⑤ 本申込書に記載された個人情報(申込者欄、連絡先欄及び請求書送付先欄に記載された内容)については、本申込みに係る評定業務以外には使用いたしません。

記入例

性能確認試験申込書(浄化槽)

一般財団法人 日本建築センター 御中

役職名を正確に！

申込者

会社名 ●●●●株式会社 ①
 責任者名 水処理機器開発本部長 ●●●●①
 所在地 〒●●●●-●●●●
 東京都●●区●●町●●丁目●●番地●●号
 電話 03-●●●●-●●●●

下記について、浄化槽試験を受けたいので、次のとおり申込ます。申込にあたっては、一般財団法人日本建築センター浄化槽試験業務規程及び同浄化槽試験業務約款を遵守します。また、この申込書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

件名	●●●●方式●●●●型		
試験の方法	適用する試験方法(予定)		
	●●浄化槽の性能評価方法 ●●浄化槽の性能評価方法細則 ●●浄化槽試験実施要領(浄化槽性能確認試験) 性能確認試験の申込はこの3項目を全て記載してください		
連絡先	会社名: ●●●●株式会社	承諾印及び承諾日	※ ここには何も記載しない
	所在地: 〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●●丁目●●番地●●号		
	部課名: ●●部●●課		
	担当 <small>かりがな</small> 者名: ●● ●●		
	電話番号: 03-●●●●-●●●●		
	FAX番号: 03-●●●●-●●●●		
	e-mail: ●●●●@●●.co.jp		
試験手数料請求先 (会社名のみ記入)	●●●●株式会社	手数料額 (税込)	※ ここには何も記載しない
請求書送付先 (会社名のみ記入。ただし、請求書送付先が【連絡先】と違う場合は住所も記入のこと。)	●●●●株式会社 ●● ●● (連絡先担当者)		

試験槽の各単位装置の概要

1. 件名	
2. 設計	

3. 試験槽の概要	
(1) 処理工程	

(2) 各単位装置の概要	

記入例

《様式2》

試験槽の各単位装置の概要

説明：試験申込をされる試験槽の各単位装置の説明となる記述内容として下さい。

試験成績書の発行を不要とされる場合は、本書《様式2》の一部(各項目参照)記載を省略可能です。

1. 件名	原則として性能確認試験申込書に記載する「件名」と同一内容として下さい。 ○○○○方式○○○○型
2. 設計	●●●●株式会社

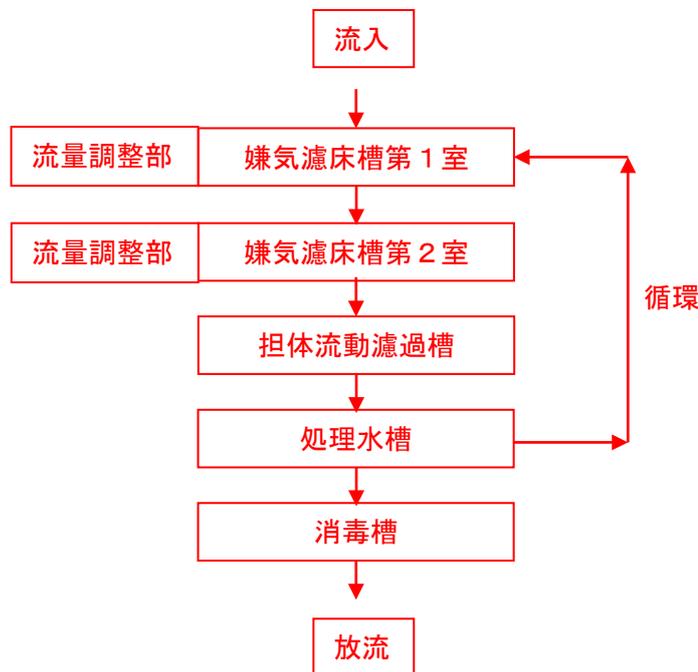
3. 試験槽の概要

(1) 処理工程

説明：上を流入、下を放流とし、縦方向のブロックフローを記入してください。

なお、構成槽数が多く、1枚にまとめられない等の場合は、本項目を別項とし、また2枚以上の複数枚構成としてもかまいません。

小規模合併処理浄化槽等の例として、以下に例を記述します。あくまでもイメージをとらえていただくためのもので、「(2) 各単位装置の概要」の構成単位装置(記入例)とリンクするものとしていません。あらかじめご了承ください。



(2) 各単位装置の概要

(各単位装置の頭の番号はフローシート図の順序を示してください。以下は記入例です。)

(各単位装置の名称は [省略不可]、概要については、省略可能です。)

<p>1) 嫌気濾床槽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2室に区分し、直列に接続する。 ・ 第1室の上部は、水位変動することによる流量調整部とする。水位変動幅は第1室の上水位から濾材充填部分が露出しない水位までの範囲とする。 ・ 第1室に空気を動力とする間欠容量ポンプを設置し、第1室から第2室へ24分の1の1倍の汚水を送水する構造とする。 間欠容量ポンプに必要な空気量は次の式によって計算された数値以上とし、これに見合う能力の送風機を専用に1台設けるものとする。 $q = \dots\dots\dots$ <ul style="list-style-type: none"> n : 処理対象人員 q : 必要空気量 (単位 : m³/時) ・ 有効容量は次の式によって計算した数値以上とする。 $V = 1.5 + 0.4(n - 5)$ <ul style="list-style-type: none"> n : 処理対象人員 V : 有効容量 (単位 : m³) ・ 第1室の有効容量は、嫌気濾床槽の有効容量の3分の2とする。 ・ 各室の有効水深は、1.4メートル以上2.5メートル以下とする。 ・ 各室の有効容量に対する濾材の充填率は、第1室40%、第2室60%とする。 ・ 濾材は、汚泥を捕捉しやすく、かつ、嫌気濾床槽内の水流が短絡し難い形状とし、当該槽の底部との距離を適切に保持する等当該槽内に閉塞が生じ難い構造とする。 ・ ろ材の材質はPP又はPEとし、第1室に直径75mm、比表面積●● m²/m³の骨格様球状濾材、第2室に直径70mm×高さ75mm、比表面積●● m²/m³の網様円筒濾材を充填する。 ・ 濾材に汚泥清掃孔 (直径15センチメートル以上の円が内接するものに限る。)を設けるほか、各室の浮上物及び汚泥の有効な引き抜きができる構造とする。 <p>※「おおむね～」との記載は使用しないで下さい。</p>
<p>2) 担体流動槽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効容量は次の式によって計算した容量以上とする。 $V = Q \times \dots\dots$ <ul style="list-style-type: none"> V : 有効容量 (単位 : m³) Q : 日平均汚水量 (単位 : m³) ・ 有効水深は、1.4メートル以上2.5メートル以下とする。 ・ 担体の充填率は60%とする。 ・ 担体の材質はPP又はPEとし、大きさは●●mm×●●mm、比表面積●● m²/m³、比重は●●の●●●●形状担体を充填する。 ・ 散気風量は、ばっ気強度が●● (m³/m³・時) 以上となる風量とする。
<p>3) 処理水槽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効容量は日平均汚水量の●●時間分に相当する容量以上とする。 $V = Q \times (\dots\dots \div 24)$ <ul style="list-style-type: none"> V : 有効容量 (単位 : m³) Q : 日平均汚水量 (単位 : m³) ・ 有効水深は、1.4メートル以上2.5メートル以下とする。 ・ 循環エアリフトポンプを設置し、嫌気ろ床槽内の流入バツフルへ日平均汚水量の4倍の水量を循環出来るものとする。
<p>4) 消毒槽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水の固形塩素接触による消毒作用を有効に継続して行うことができる構造とする。 ・ 消毒槽の有効容量は、日平均汚水量の15分間に相当する容量以上とする。 $V = Q \div 24 \times (15 \div 60)$ <ul style="list-style-type: none"> V : 有効容量 (単位 : m³) Q : 日平均汚水量 (単位 : m³) ・ 固形塩素剤と汚水の接触水深を容易に調整することができる構造とする。 ・ 有効水深は、0.3メートル以上2.5メートル以下とする。

浄化槽性能確認試験の試験設定条件の変更届

一般財団法人 日本建築センター
浄化槽試験所長 [試験所長名] 様

届出者
会社名
部課名
氏名

印

印

令和 年 月 日付けで浄化槽性能確認試験を申し込みしました、 型の試験設定条件を以下の通り変更するので届出いたします。

- ・変更箇所
- ・変更内容
- ・変更方法

以上

承 諾 印	
-------------	--

記入例

浄化槽性能確認試験の試験設定条件の変更届

一般財団法人 日本建築センター
浄化槽試験所長 井上 廣輝 様

【浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書】《付属資料1》に記載の「試験申込責任者」とする。

届出者
会社名 ●●●●株式会社 印
部課名 ●●部●●課
氏名 ●● ●● 印

試験申込書の【承諾日】を記載する。

令和●●年●●月●●日付けで浄化槽性能確認試験を申し込みました、○○方式○○○○型の試験設定条件を以下の通り変更するので届出いたします。

試験申込書の【件名】を記載する。

- ・変更箇所 (例) 試験実施工程
- ・変更内容 低温負荷試験期間(13℃)の延長、恒温通常負荷試験期間(20℃)の短縮
- ・変更方法 現在実施中の低温負荷試験期間を4週間延長し、恒温通常負荷試験期間を2週間短縮して実施する。
浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書《付属資料1》の各負荷試験期間の日程、及び点検等作業計画書《様式6》の流入水温変更日を変更し、提出する。

- 変更後の各負荷試験期間：
- ・低温負荷試験延長期間：●●●●/●●/●●~○○/○○
 - ・恒温通常負荷試験期間：●●●●/○○/○○~■●/○○
 - ・流入水温変更日：●●●●/○○/○○

以上

試験期間中試験槽の設定条件、試験槽の改造等(処理フローの変更等)を行う場合、本書をご提出ください。

本様式の【届出者】は「浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書《付属資料1》」に記載された「試験申込責任者」としてください。

また、試験槽の変更に関して、提出頂いている試験槽図面(フロー図含む)、試験槽の各单位装置の概要、試験槽の寸法等の変更部分該当書類と変更箇所の新旧対比表《様式4》を合わせてご提出ください。

●試験成績書の発行を不要とされる場合は、《様式3》、《様式4》及び変更箇所の該当資料の内容によっては提出を省略できます。

承	
諾	
印	

変更箇所の新旧対比表

件名：

変更箇所の項目	変更前	変更後	変更実施日

変更箇所の項目	変更前	変更後	変更実施日

記入例

《様式 4》

令和●●年●●月●●日

変更箇所の新旧対比表

件名：●●方式○○○○型

変更箇所の項目	変更前	変更後	変更実施日
浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書《付属資料1》	・ 馴養期間処理水採水頻度 馴養開始2週目より1回/2週の頻度で実施する。	・ 馴養期間処理水採水頻度 馴養開始2週目より1回/週の頻度で実施する。	○○/○○
点検等作業計画書《様式6》	・ 馴養期間中の処理水採水日 ⇒隔週実施	・ 馴養期間中の処理水採水日 ●●/□□以降毎週実施	○○/○○

二回目以降は、一回目からの変更内容に続けて新たに行った変更内容を追加記載してください。

変更箇所の項目	変更前	変更後	変更実施日
浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書《付属資料1》	・ 低温負荷試験期間 ●●●●/●●/●● ~●●/●●	・ 低温負荷試験期間 ●●●●/●●/●● ~□□/●●	●●/●●
	・ 恒温通常負荷試験期間 ●●●●/●●/▲▲ ~●●/▲▲	・ 恒温通常負荷試験期間 ●●●●/□□/●● ~●●/▲▲	●●/●●
点検等作業計画書《様式6》	・ 温度移行馴養開始日 ●●●●/●●/●●	・ 温度移行馴養開始日 ●●●●/□□/●●	●●/●●

試験期間中試験槽の設定条件、試験槽の改造等（処理フローの変更等）を行う場合、浄化槽性能確認試験の試験設定条件の変更届《様式3》と同時に本書をご提出ください。

本書には《様式3》により変更を実施した変更箇所（浄化槽性能確認試験申込資料の付属資料または添付図書の項目名）について変更前と変更後の具体的な内容を対比させて記載してください。また、その変更実施日も合わせて記載してください。

なお、2回目以降の変更実施の場合は、直前に提出した変更箇所の新旧対比表の記載内容に続けて、今回の変更実施内容を追記してください。（複数回の変更を実施した場合、1回目からの変更履歴がすべてこの様式内に記載されることとなります。本書は試験成績書に添付します。）

●試験成績書の発行を不要とされる場合は、《様式3》、《様式4》及び変更箇所の該当資料の内容によっては提出を省略できます。

搬入搬出計画書

搬入計画

搬入期間	H. . . ~ H. . .			
作業人員				
作業用大型機械				
計画				
作業内容	日目	日目	日目	日目
備考：				

搬出計画

搬出期間	H. . . ~ H. . .			
作業人員				
作業用大型機械				
計画				
作業内容	日目	日目	日目	日目
備考：				

記入例

《様式 5》

搬入搬出計画書

搬入計画

搬入期間	H●●●●●●●● ~ H●●●●●●●●			
作業人員	△日目 4人 ○日目~●日目 3人			
作業用大型機械	△日目 ユニック車 1台 フォークリフト 1台			
計画				
作業内容	△日目	○日目	□日目	●日目
試験槽搬入・設置作業	→			
水張り・初期調整		→		
汚泥投入操作			→	
試験槽確認項目の確認			→	
シーディング				→
最終調整確認・流入開始				→
備考：評価試験では、確認試験で生じた汚泥を用いて汚泥投入操作を実施しないため、投入汚泥採取について、試験員の立会いは不要。 （※汚泥投入操作を実施した試験槽の引抜汚泥を【性能評価試験】の投入汚泥として使用される場合は、汚泥採取・濃度調整等作業において、試験員の現場立会いが必要となります。）				

試験申込書提出時には搬入計画（案）とし、試験条件等打合せ後に日付を設定した搬入計画をご提出ください。
●試験成績書の発行を不要とされる場合であっても、必ずご提出ください。

搬出計画

搬出期間	H●●●□□●●● ~ H●●●□□●●●			
作業人員	○日目 3人 ●日目 2人			
作業用大型機械	○日目 バキューム車 1台 ●日目 ユニック車 1台 フォークリフト 1台			
計画				
作業内容	○日目	●日目		
汚泥引抜き	→			
配管撤去	→			
試験槽搬出		→		
試験室清掃		→		
備考：汚泥引抜きは、申込者が実施する。自吸式ポンプを用いてポリタンクに引抜き後、残りの槽内水と合わせて夕方にバキューム車にて搬出する。（ポンプとタンクは試験所備品を借用する）				

試験申込書提出時には搬出計画（案）とし、確認試験の終了（搬出）時期までに日付を修正した搬出計画をご提出ください。
●試験成績書の発行を不要とされる場合であっても、必ずご提出ください。

点検等作業計画書

試験実施期間：H . . . ~ H . . . （ 週間）

	月	火	水	木	金	土	日
1 週目	/	/	/	/	/	/	/
2 週目	/	/	/	/	/	/	/
3 週目	/	/	/	/	/	/	/
4 週目	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
・ ・ ・	/	/	/	/	/	/	/
備考：							

記入例

《様式6》

点検等作業計画書

試験実施期間：H●●●●●●●● ～ H●●●●●●●●（24週間）

	月	火	水	木	金	土	日
1週目	●/● ・試験槽搬入 (申込者)	●/● ・配管接続 (申込者) ・初期調整 (申込者)	●/● ・確認項目確 認(申込者、 試験所)	●/● ・原水流入開 始(試験所)	●/●	●/●	●/●
2週目	●/●	●/●	●/● ・処理水採水 (試験所) ・処理水測定 (試験所)	●/●	●/●	●/●	●/●
3週目	●/●	●/●	●/●	●/●	●/● ・試験槽点検 (申込者)	●/●	●/●
4週目	●/●	●/●	●/● ・処理水採水 (試験所) ・処理水検体 送付(試験所)	●/●	●/●	●/●	●/●
5週目	●/●	●/●	●/●	●/●	●/● ・試験槽点検 (申込者)	●/●	●/●
...	/	/	/	/	/	/	/
17週目	●/●	●/●	●/●	●/●	●/● ・試験槽保守 点検(申込者) 【4ヵ月目】	●/●	●/●
18週目	●/●	●/●	●/● ・処理水採水 (試験所) ・処理水測定 (試験所)	●/●	●/●	●/●	●/●
...	/	/	/	/	/	/	/
24週目	○/●	○/●	○/● ・処理水採水 (試験所) ・処理水検体 送付(試験所)	○/● ・汚泥引抜き (申込者) ・汚泥搬出 (申込者)	○/● ・試験槽搬出 (申込者) ・試験室清掃 (申込者)		

備考：

- ・3週目以降2週間に1回の頻度で金曜日に申込者が試験槽点検を実施する。
- ・2週目以降2週間に1回の頻度で処理水を採水する。
(処理水検体は2週目以降4週間に1回を試験所に測定依頼し、4週目以降4週間に1回を申込者へ送付する。)
- ・17週目の●/●(金)に流入開始後4ヵ月経過のため申込者が保守点検を実施する。(1回/4ヵ月)
- ・24週目の○/●(木)に申込者が槽内汚泥の引抜き・搬出を実施、○/●(金)に試験槽の搬出を実施する。

試験期間中に行う試験槽の点検、測定等の作業計画を記載し、本書をご提出ください。

●試験成績書の発行を不要とされる場合であっても、試験申込資料として、計画書(案)は必ずご提出ください。

試験条件の打ち合わせにおいて、作業計画の確認、日程調整を行います。本書の変更が生じた場合は、変更箇所の新旧対比表《様式4》を合わせてご提出ください。

●試験所による処理水測定を1回/4週の頻度よりも少ない頻度で実施された場合は、試験成績書を発行できません。

保守点検チェックリスト

作業者	試験員	所長

型試験槽 保守点検用チェックリスト							／ 頁
日時 年 月 日 : ~ :							
保守点検員氏名							
確認項目	点検を行う状態	点検順序	設定値	適正範囲	確認結果	対策	
槽							
槽							
槽							
槽							

記入例

《様式 7》

保守点検チェックリスト

作業者	試験員	所長

●●型試験槽 保守点検用チェックリスト							1/2 頁
日時 年 月 日 : ~ :							
保守点検員氏名							
確認項目	点検を行う状態	点検順序	設定値	適正範囲	確認結果	対策	
流量調整槽	槽内 DO	$MWL \leq X \leq$	20	特になし		_____ mg/L	維持管理要領書 p. ○参照
	槽内 pH	HWL	21	右の範囲内	5.8~8.6	_____	
	移送水量	$MWL \leq X \leq$ HWL	22	4 L/min	3~5L/min	_____ L/min → _____ L/min	維持管理要領書 p. ○参照
	計量ボックスの清掃	特になし	34	越流ぜき部をブラシでこする。生物膜を残さない。		清掃 有・無	維持管理要領書 p. ○参照
	スクリーンの清掃	特になし	35	スクリーン部をブラシでこする。		清掃 有・無	
	底部堆積汚泥の確認	特になし	29	3ヶ所測定し、平均が10cm以上ならば、底部汚泥を引抜く。		_____ cm 引抜き有・無	維持管理要領書 p. ○参照
	壁面の清掃	特になし	39	壁面をブラシでこする。		清掃 有・無	維持管理要領書 p. ○参照
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
嫌気濾床槽	異常な水位上昇	特になし	10	特になし	$LWL \leq X \leq HWL$	良・不良	維持管理要領書 p. ○参照
	スカム生成状態	特になし	31	特になし		_____ cm・無	維持管理要領書 p. ○参照
	水温	特になし	12	13 or 20		_____ °C	維持管理要領書 p. ○参照
	透視度	特になし	13	特になし		_____ 度	
	pH	$MWL \leq X \leq$	14	5.8~8.6		_____	維持管理要領書 p. ○参照
	DO	HWL	15	特になし		_____ mg/L	
	底部堆積汚泥の確認	移送パツフル内測定	30	特になし		_____ cm	維持管理要領書 p. ○参照
	槽内壁面の清掃	特になし	38	壁面をブラシでこする。		_____	維持管理要領書 p. ○参照
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	

試験期間中の維持管理作業を試験所に依頼される場合は、試験槽用の維持管理要領書とあわせて本書をご提出ください。

(試験成績書の発行を不要とされる場合で維持管理作業を試験所に依頼されない場合は、省略できます。)

なお、原則的には性能評価試験における維持管理作業と同様に、実製品の維持管理要領書に記載予定の点検内容に従う点検項目(内容)としてください。

本書や維持管理要領書に変更が生じた場合は、該当書類と変更届《様式 3》及び変更箇所の新旧対比表《様式 4》を合わせてご提出ください。

取り下げ届

一般財団法人 日本建築センター 御中

申込者

会社名

①

責任者名

①

所在地

1. 申込年月日 年 月 日

2. 当該申込に係る浄化槽試験申込件名

上記による申込については、下記の理由により申込を取り下げたく届け出ます。

(理由)

記入例

《様式 8》

令和●●年●●月●●日

取り下げ届

一般財団法人 日本建築センター 御中

【性能確認試験申込書】《様式 1》に記載の「申込者」とする。

申込者

会社名 ●●●●株式会社

印

責任者名 水処理機器開発本部長

●● ●●

印

所在地 〒●●●●-●●●●

東京都●●区●●町●丁目●番地●号

1. 申込年月日 令和●●年●●月●●日

試験申込書の【承諾日】を記載する。

2. 当該申込に係る浄化槽試験申込件名

●●●●方式●●●●型

試験申込書に記載の【件名】を記載する。

上記による申込については、下記の理由により申込を取り下げたく届け出ます。

(理由)

性能確認試験における所期の性能確認が完了し、当初予定の試験期間前に終了とするため。

(注意)

- ①性能確認試験申込書《様式 1》に記載された「申込者（責任者）」の役職及び氏名を記載してください。
- ②氏名（法人の場合にあっては、申込責任者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。
- ③不要な文字は、抹消してください。

※取り下げ届《様式 8》を提出された場合は、試験成績書を発行できません。